

# 日本経済新聞

2019年5月11日 (土)

検索欄、記事、株価

トップ 経済・政治 ビジネス マーケット テクノロジー 国際・アジア スポーツ 社会 地域 オピニオン 文化 マネー ライフ

ストーリー 速報 朝刊・夕刊 日経会社情報 人事ウオッチ Myニュース

## マハティール氏 いばら道

### 財政再建が後退、見えぬ成長戦略 支持率5割下回る

2019/5/11付 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

【シンガポール=中野貴司】1957年の独立以来初の政権交代から10日で1年となったマレーシアのマハティール首相の支持率が下降線をたどっている。腐敗の象徴だったナジブ前首相を起訴し、消費税を廃止するなど国民の関心が高い政策に注力してきたが、財政再建路線は後退が目立つ。成長戦略も具体化には遠く、2年目の政権運営は厳しさを増す。



分野	成績	コメント
汚職の追及	○	ナジブ前首相を逮捕・起訴
大型事業の見直し	△	高速鉄道計画を凍結するも、最近では再開を決める事業も目立つ
財政再建	×	消費税の廃止で安定的な歳入源を失う
成長戦略	×	第3の国民車構想などを掲げるも具体化には遠い
多民族融和	△	非マレー系や女性を要職に登用。一部のマレー系は反発
アンワル氏への禅譲	△	約束通りの禅譲を強調するも、詳細な時期は未定

(○=進展、△=課題残る、×=成果乏しい)

画像の拡大

「汚職を減らすことができたのが、この1年の最大の成功だ。まともにビジネスができるようになり、海外直接投資も戻ってきた」。マハティール氏は9日、ナジブ前政権時代からの変化を自賛した。

#### 政権交代2年目

腐敗した国の再生を掲げて政権交代を果たしたマハティール氏にとって、政府系ファンド「1MDB」を巡る汚職の捜査は最優先課題だった。多額の資金を自らの懐に入れたなどとしてナジブ氏を42の罪で逮捕・起訴し、汚職を隠蔽していた前司法長官や、関与した元財務次官らを次々と更迭した。代わりに実力主義に基づいて非マレー系や女性を要職に登用した。

ただ前政権時代の負の遺産を掘り起こした結果、負担が増えるというジレンマも生んだ。4月には前政権の支持基盤と密接に結びついていた連邦土地開発公社（フェルダ）の救済のため、約60億リンギ（約1600億円）の資金注入を決めた。

従来7千億リンギ弱と公表していた国の債務は政府保証なども含めて1兆リンギを超え、歳出の削減が急務だ。しかしマハティール政権は4月中旬、前政権が中断したクアラルン

#### アクセスランキング(未読分)

- 米、対中制裁関税引き上げ 発動 協議2日目が終了
- NY株反発 米中貿易協議 「建設的」との発言好感
- 森・プーチンがつかない交渉 「島に米基地」今も懸案

OS株式会社

即入居可

棟内モデルルーム公開中

こちらの広告をご覧いただいた方限定

特別公開コンテンツ

日経からのお知らせ

キャリア採用、通年で募集

会員向け新着情報【日経コンシェルジュ】

メールだからここまで書ける。新メディア創刊

おすすめ情報

観光国際化と地方創生への貢献を学ぶ

京都の旬を味わうなら納涼床のお席へ

米中対立下の投資における留意点

グローバル時代のビジネス数字力とは

人生100年時代の住まいの選択肢は？

あなたの市場価値を5分で無料診断

世界で、あなただけの家を見つけよう

本田直之直伝！英語よりワインを学べ

社会人大学院

レストラン

BizGate

スキルアップ

マンション相場

転職

海外不動産

未来ショッピング

[PR] 一覧はこちら

宇宙開発という夢の実現へ

無重力状態の生命科学研究。JAXAでの成果が宇宙開発に果たす役割/カールツァイス

京都・松本の新しい旅

ワイナリーとジャズを楽しむ大人の旅/新発見！ニッポン SUPPORTED BY 日本生命

ひらめきブックレビュー

良い本に出会いたい。ビジネスに生きる必読の8冊

プールの大型再開計画を再開すると発表した。その1週間前には、中国と建設費用が440億リングに上る大型鉄道計画の再開で合意した。

税収の4分の1を占めていた消費税を政権公約通り廃止したため、安定収入源は細っている。ナジブ前政権時代に一時約15%まで縮小していた石油関連収入への依存度は約30%に逆戻りした。

1人あたりの国内総生産（GDP）が1万ドルを超えるマレーシアにとって、先進国入り後を見据えた中長期の成長戦略づくりが急務だ。マハティール氏は「2年目は経済政策に注力する」と訴えるが、これまで目立つのは「第3の国民車構想」や「インダストリー4.0」戦略といったスローガンばかり。将来の成長を支える新産業育成の道筋は見えてこない。

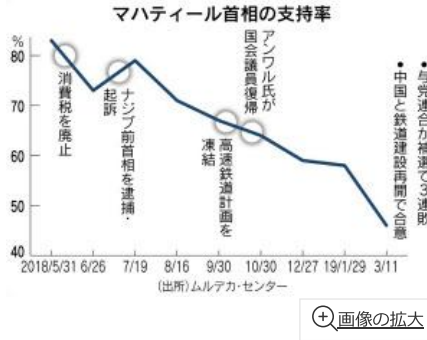
### 93歳「あと1年」

東南アジア研究所（ISEAS）のケイシー・リー上級研究員は「マレーシアの製造業は日本や韓国の水準に達するはるか前に、ピークを過ぎようとしている」と指摘。先進国入り前に成長率が鈍る「中所得国のわな」に陥っていると警鐘を鳴らす。

政権交代前は5%を超えていた成長率が4%台に落ち込むなど、経済は伸び悩んでいる。生活水準が改善しないことへの国民の不満も高まっている。世論調査機関ムルデカ・センターの最新の調査では、マハティール首相の支持率は就任以来、初めて5割を切った。

93歳と高齢のマハティール氏は、首相就任から2年以内をメドにアンワル元副首相に禅譲すると公言してきた。9日には「私は少なくともあと1年首相を続けることができる」と述べたが、禅譲時期は明示しなかった。

2人は1年前の総選挙の際、政権交代という共通の目的で手を結んだものの、かつては激しく敵対していた。2人の関係が再びこじれれば、マレーシア政治は混乱状態に陥りかねない。



### シリーズ第3回、公開中

世界各地で奮闘する社員を追う〜L N Gカナダプロジェクト／三菱商事



### アクセスランキング

一覧>

- 貿易摩擦、痛みは中国に 安定物価が米政権強気支える
- 米、対中制裁関税引き上げ発動 協議2日目か終了
- 「ユニコーン」ウーバー上場、初値は公開価格割れ
- 米中間級協議が終了 トランプ氏「交渉急がず」
- コクヨ、へんてるへの4割出資を発表 海外開拓狙う
- 鴻海の役員案、シャープ・戴社長が復帰
- NY株反発 米中貿易協議「建設的」との発言好感
- (真相深層) パワハラ証明に「秘密録音」民事裁判で採用相次ぐ
- 5Gスマホ使ってみたが… 「速さ実感できず」
- 米中、歩み寄り難しく トランプ氏、制裁関税「第4弾」も視野

5/11 5:00 更新

### 日経BP

日経クロストrend 綾瀬はるかの「奇妙な踊り」に企業メッセージ乗せた江崎グリコ

日経 xTECH (クロステック) 知られざるユニコーン、グーグルから独立したルーンの「上昇力」

### 日経ビジネス

特派員レポート 自動運転、「ドヤ顔」テスラと焦るエヌビディア

1分解説 孫正義氏が10兆円ファンドの第2弾設立を正式表明

### NIKKEI STYLE

マネー研究所 30〜40代は「iDeCo適齢期」 継続貯蓄できる家計に

出世ナビ 人を育てる3つの「き」 昭和女子大・坂東氏の育成論

ヘルスUP 飲む前に飲む「助っ人」に新顔 酢酸菌酵素の実力

グルメクラブ 食の達人コラム オーストラリアの「酒サムライ」 強い味でファン開拓

### 日経BizGate

平成の「先」の時代を考える 「令和の新札」肖像を右側に描くワケ

少子化する世界 顕著な東アジア高所得国、韓国は大人2人に子ども1人

### U22 学び・就活・キャリア

ピリギャルもう1回勉強するよ

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

### 類似している記事 (自動検索)

財政再建路線が後退 マレーシア、政権交代から1年

2019/5/10 19:00



マレーシア、政権交代から100日 マハティール首相、人気取り政策を優先

2018/8/16 15:58



93歳のマハティール首相、なぜ復権？

2018/7/31 6:00



マハティール政権2カ月、見えぬ成長戦略

2018/7/9 19:39



PR 「企業からのお知らせ」掲載企業をこちらでご確認いただけます

### 関連キーワード

- マレーシア政府
- ケイシー・リー
- マハティール
- マレーシア
- 政権交代
- 財政再建
- 成長戦略
- ナジブ・ラザク
- いばら道